

vol. 30

2025 March

「
変わらな
いたため
に変わる
」



I am the vine, you are the branches.
John15:5



福岡女学院同窓会会報

ぶどう

BUDOU

- Alumnae association bulletin -
2025

会報誌「ぶどう」デジタル配信へ

兼ねてより印刷物のデジタル化を推進してまいりましたが、**印刷物での郵送を希望される方のみ**お送りする予定です。

郵送をご希望の方は、右記のQRコードから申込みいただくか、右記の1~4の事項をご記入の上、メール、FAXまたは郵送にて、紙面下部に記載されている同窓会宛にお送りください。

〔郵送受取希望のかた〕

1. お名前(卒業時のお名前も)
2. 生年月日
3. 卒業のグレード(学校)(卒業年)
4. 会員番号(分かれば)



今後の同窓会からのお知らせについて

上記のように、印刷物での受け取りを希望される方以外は、メールやSNS でのお知らせとなりますので、できる限りメールアドレスの登録をお願いいたします。また、住所やメールアドレス等に変更がある方は、同窓会ホームページより変更・追加をお願いいたします。ホームページからの登録・変更が難しい方は、事務局までご連絡ください。※事務局からのメール (@fukujo.ac.jp) が受信できるよう設定してください。

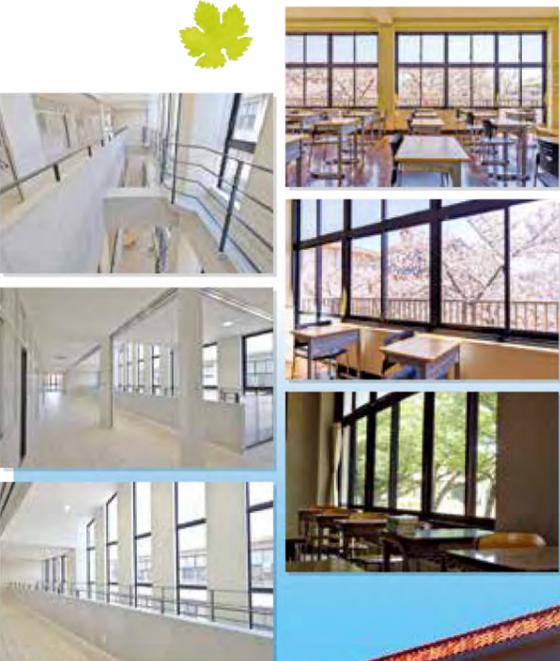


「かがやく」応援募金
について



詳しくは
「かがやく」応援募金
で検索ください

2024年2月に高校校舎が完成し、2025年7月には中学校舎も完成予定です。創立140周年を迎える福岡女学院には、皆さまそれぞれに思い出があることでしょうか。『女学院らしさ』は変わらず、これからの未来へ向かう福岡女学院のために、『かがやく』応援募金への支援をお願いします。



会長挨拶



同窓会会長
野田 幸子
(1979(S54)年高卒)

同窓生の皆さまにおかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

2024年は、極暑が長らく続き、能登では二度も大きな災害に見舞われ、少子高齢化の問題や物価高騰など、不安定な社会や経済により、近年日本人の幸福感が損なわれていく状況が続いているように感じざるをえません。

ITの発展により、世界がより近いものになり、どこにいてもオンラインでコミュニケーションは取れるようになりましたが、逆に人と人との心の距離は開いた気がします。一方福岡女学院では、先生方が学生や生徒と触れ合う姿や、同窓会でも年齢の隔たりを超え、初めて会

った同窓生でも一瞬にして家族のように通じ合う様子を見て、とても温かいものを感じてまいりました。それは創立以来、キリスト教主義の女子教育の為に、多くの方々の想いやご支援が、福岡女学院の卒業生だけでなく、学院に関わるすべての方々に着実に受け継がれている表れだと思います。

時代は、偏差値だとか、よい大学、一流企業へ行くという価値観がだんだんと失われてこようとしています。今までの左脳重視の社会から右脳つまり感性の時代へと移っているからです。

私の主観ではありますが、まさしく福岡女学院生が世(社会)や未来の子供達のために、必要とされる時代になってきているようにも感じます。

そこで、私たち同窓生になにができるか。

今年福岡女学院は創立140周年を迎えます。140年という時を経て、次々と新しい枝をつけていきながら年輪を重ねしつかり地に根を張った立派な木になっていきます。そこで私たち同窓生はその枝を太く強くしていく必要があるのです。

同窓生として次の世代の生徒、学生たちに私たちが残せることを一緒に考えていきませんか。それが、先人たちが私たちにしてくださったように、私たちが繋いでいくことが感謝のリレーだと思います。

同窓会総会では140周年の記念の取り組みとして、福岡女学院

を卒業した140人を紹介するパネル展示を準備しています。この展示から同窓生の活動や仕事を知ることにより、私たち自身にも、これからの学生、生徒たちひとりひとりに勇気や希望を与え、女学院生である誇りと幸福感をしっかりと繋いでいくきっかけにもなることを願っております。

5月18日には、コロナ禍で開催できなかったホテルでの総会・懇親会を予定しております。6年ぶりに同窓生の笑顔がたくさん見られますよう、心からお待ち申し上げております。





校内ツアー
ご案内

／ 2024年度 ／

総会報告

2024年5月18日 福岡女学院大学日佐キャンパスにて、2024年度同窓会総会を開催いたしました。

今年度就任されました、廣田理事長、守山院長、副島学長よりご挨拶を賜り、学院の様子や同窓会への感謝を述べられました。

創立記念行事後に開催いたしました同窓会総会が、昨今のご指摘のとおり、総会参加者が少なく、今後の課題として真摯に受け止めてまいります。今回の総会につきましては、全ての議案について承認を得ましたことをご報告いたします。

最後に、野田同窓会会長から、福岡女学院同窓会の現状とこれからの未来に向けた取り組みへの説明がありました。

今後とも、会員の皆様へは、お心を寄せていただき、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

総会後に行われたキャンパスツアーでは、資料室や写真展、新旧高校校舎をご覧いただきました。旧校舎では学生時代の思い出に花が咲き、新校舎では明るくオープンな空間と恵まれた設備や環境に感嘆されたり、大変くつろいだ楽しいツアーとなりました。

創立140周年
2025年度

福岡女学院同窓会総会



場 所：西鉄グランドホテル 福岡市中央区大名2-6-60 TEL 092-781-0711

参加費：一 般 3,500円
80歳以上の方・学生の方は 2,000円

日 時：2025年5月18日(日) 14:00～16:00(13:30開場)

当番学年：1999(H11)年卒業生(高校・短大・大学)

右の二次元コードを読み込んでいただくか、同窓会事務局までメール、電話、FAXのいずれかの方法でお申し込みのうえ、4月30日(水)までに下記振込先に参加費をお振り込みください。お振り込みをもって申し込み完了とさせていただきます。

申込手続きは
こちらから



申込方法

ゆうちょ銀行からのお振り込み
01700-1-93350
福岡女学院同窓会

他銀行からのお振り込み
ゆうちょ銀行 店名 一七九(イチナナキュウ)
当座 0093350 福岡女学院同窓会



※ 詳細等につきましては福岡女学院同窓会ホームページにてお知らせいたします。変更事項は随時掲載いたしますのでご確認ください。また、公式LINEやSNSでも配信いたしますので、フォローをお願いいたします。各アカウントのQRコードは、P17に掲載しております。

※ キャンセルのご連絡は、5月7日(水)までをお願いいたします。



学校法人 福岡女学院
理事長 廣田 りょう

同窓会の皆様、日ごろは女学院のために多くのサポートをいただき心から感謝いたします。卒業生のお一人お一人がご家庭や社会で大変な役割を果たされていることこそが、創立140周年を迎える女学院が果たしてきた女子教育の輝かしい成果であることをあらためて覚えます。

同窓会では活動の活性化に努め、小さな地域による新しい支部活動や卒業生の様々なニーズに合わせた集まりなども検討されていることを聞いています。女学院も生涯学習社会の実現の観点から、趣味や文化、レクリエーション活動などで活性化のお手伝いできる可能性もあるかと考えます。

同窓会のビジョン実現と女学院の発展のために引き続き連携を強めて歩んでまいりましょう。



学校法人 福岡女学院
院長 守山 恵子

同窓会のみなさま、常日頃から福岡女学院を覚え、愛し、支えてくださりありがとうございます。心からお礼を申し上げます。

この4月に院長に就任すると同時に、私は、短期大学部での授業を1コマ担当する機会を得ました。最後の学年と出会う機会が与えられたことは、私にとつとでもありがたいことでした。学生たちは積極的で明るく、おかげで私自身が楽しい時を過ごしました。園児たちのかわいい姿に喜びを感じ、中高生の元気な姿にうれしくなり、短大、大学、看護大学、そして大学院の学生の前向きな姿に力をもたらす毎日です。各学校間の連携を一層進めたいと願っております。祈りつつ前進いたします。今後ともよろしくお願いいたします。



福岡女学院大学
福岡女学院大学短期大学部
学長 副島 雄児

女学院愛

同窓会の皆さま初めまして。こちらに参りまして、私はこれまで福岡女学院とのつながりはありませんでしたので、ピカピカの1年生とということになります。どうぞよろしくお願いいたします。

35年間大学に勤務していましたが、私立、女子、ミッションはどれも初めての経験です。不安がありました。周囲の皆さまにとっても温かく迎えていただき大変安心したところです。

こちらへ来ての私の最初の気づきは、同窓会の皆さまの“つながり”の強さと“女学院愛”の深さでした。間違いなく、私は同窓会の皆さまに支えられ、助けていただきながら任務に当たることになると思います。その応援にお応えできるよう、誠心誠意努めたいと思います。



福岡女学院看護大学
学長 片野 光男

なくてはならない看護大学へ
成長し続けています

開学17年目に入り、学生・看護大学・病院に評価の高い全国区の看護大学(シミュレーション教育のリーディング大学)へとぐんぐんと成長しています。2024年度は、①在学生・卒業生による「口コミ評価」は全国私立大学1位、②教員一人当たりの科学研究費獲得額は、お茶の水、奈良女子、東京女子医科大学に次いで全国女子大4位、③日本私立大学連盟による先進的取り組みをしている私立大学15大学(早稲田、上智、順天堂大学医学部など)に選出など、なくてはならない看護大学となっています。学生は全国270以上の高校から集い、これまで、九州・沖縄で974名、関東で224名、関西で65名、中部で9名、中国で8名、東北で1名の計1281名が活躍しています。



福岡女学院中学校
福岡女学院高等学校
校長 重枝 一郎

チャーミングな
ファーストペンギンになろう

同窓生のみなさん、いつもあたたかい応援ありがとうございます。中高での最上位の教育目標は、「自律的学習者」としています。つまり、「自分で決める力」を付けるということ。幸福感を左右するのは、選択の場面で、自分で決定できたかどうかと言います。そのためマインドセットがとても重要で、生徒たちには次のように語っています。

まずは、「ファーストペンギンマインドをもとう」です。何かをやる前に、「やる意味があるのか」「将来役に立つのかな」を考えないということ。また、「完璧にやりたい」も必要ありません。「できない理由」を考えないということ。 「できない理由」は0.2秒でいくらでも思いつくと言われています。

次に、「失敗したくないんですから卒業しよう」です。とにかく「おもしろがる」「試す」「失敗(未成功)から学ぶ」というマインドです。完璧主義からの卒業とも言えます。最後に、「応援され力は大切だ」です。自分の力を補う他者の力は必ず必要になります。そのためには、「応援したい」と思われなくてはなりません。私がよく言う「人たらしになるう」のことで。ポイントは、「あいさつ」「お礼」「真剣さ」「ひたむきさ」「笑顔」です。私は、ここまでの話をまとめて、女学院の生徒になってほしい人のキヤッチフレーズをつくりました。それは、「チャーミングなファーストペンギンになろう!」です。「チャレンジ」と「応援され力」を合わせた意味です。これからよろしくお願いします。

季節ワークショップ

会場：同窓会集会室(日佐キャンパス百周年記念館1階)

中高部会では季節のワークショップを企画・開催しています。2024年度はイースターとクリスマスにちなんだイベントを行いました。ご友人と、ご家族と、おひとりでも気軽にご参加いただけます。同窓生の皆さんが懐かしの校舎で、ほっと安らぐ時間になればと願っています。

第1回 イースターエッグを作ってみよう!

2024年4月6日(土)開催



イースターエッグづくりのワークショップでは、彩り豊かなシールやセロハン、リボンを使って卵を綺麗にデコレーションしました。思い思いの個性豊かなイースターエッグが完成したら、同窓会集会室のあちこちに隠して・・・エッグ探しも楽しみました!



会のはじまりには、坂元恵子中高部会長によるイースターエッグのお話があり、全員でイエス様にお祈りを捧げました

年齢問わず楽しめる内容です。小さなお子様にもご参加いただきました



個々のセンスが光るイースターエッグ♪

第2回 クリスマスリースを作ってみよう!

2024年11月30日(土)開催



クリスマスの足音を感じる季節に、クリスマスリースづくりのワークショップを開催しました。グリーンを巻きつけて土台が完成したら、沢山準備された材料から好きなものを選んで飾り付けをしていきます。皆さん素敵なリースができあがり、笑顔溢れる時間となりました。

参加者の声
「親子で楽しく思い出になりました。坂元先生のクリスマスのお話も分かりやすく、4才の娘もしっかり聞ける内容で良かったです。」
「思った以上に本格的なリースができて嬉しかったです。材料豊富で驚きました。」
「はじめて作りましたが、先生に教わりながら楽しく作ることができました。」
「子どもたちと母校を訪れるきっかけとなり、とても感慨深いです。」



同窓生の魚住直美さん(1974(S49)年短卒)に講師を務めていただきました



中高部会

創立140周年記念パネル

卒業生140人展

2025年、福岡女学院創立140周年を記念して、中高部会は「卒業生140人展」を開催します。

現在17,000名を超える女学校・中学・高校の卒業生のなかから、色とりどり多彩な140人のご活躍をパネル展示でご紹介します。

「ミッションで学んだおかげ」
中高部会長 坂元恵子

母校は2025年に創立140周年を迎えます。この長い年月のどこを切り取っても、そこに必ずセーラー服の私たちがいます。そこで、創立140周年の記念行事に、卒業生140人を切り取り、パネルにすることにしました。

わたしが切り取った「コマは終戦直後、母校に学んだ先輩方です。御年90歳。この先輩方、「今が一番いい時」と元気いっぱいなのです。」

「どうしてこんなに元気に人生を楽しんでいらつしやるのでしょうか?」とお尋ねすると、「ミッションで学んだおかげ。終戦直後の母校は校舎はボロボロ。雨の日はバケツを並べ、冬はトタン板を張って隙間風を防ぐ有様だったけれど、私達は自由だった。自由にもが言え、自由に考え、自由に行動できた。そして、毎日の礼拝。そこで私たちは神様の存在を知った。クリスマスにはならなかったけれど、神様を信じることでできたので、この世のいろいろなものに惑わされずに生き

てこれたと思う。そして、ミッションの6年間は思春期の真ん中、そこで得た友達は一生涯の友となった。どんな時も友達が支えになってくれたし、力になってくれた。かけがえのない6年間だった」と。

今は先の見えない時代と言われています。これから、人生の土台を築こうとしている中学・高校生の皆さんたちにとっても「将来の自分」を描くことが困難な時代かもしれませぬ。そんな時代だからこそ「ミッションで学んだ」先輩たちのパネルが、若い後輩たちの誇りとなり、エネルギー源となり、支えとなると信じています。

同窓生の皆さま、どうぞ、ご自分が母校の140年の歴史の営みを形づくった一つのピースであることを思い起してください。そして、「ミッションで学んだおかげ」をこれからの人たちに伝えて欲しいと願っています。

引き続き、いろんなジャンルで活動している卒業生の皆様の情報をお待ちしています。

情報提供はこちらから



「卒業生140人展」は、2025年5月の創立記念日や同窓会総会で展示予定です。詳細は同窓会のLINEやInstagramよりご案内いたします。



WELCOM MISSION

2024年度中学校・高等学校の入学式当日、中高部会から新入生の皆さんにお祝いのメッセージカードとスイーツを贈りました。ひとりひとりの学院生活が豊かで素晴らしいものになりますようお願いを込めてお配りしました。



今後のイベント開催情報は、同窓会LINEやInstagramよりご案内します。



短大卒業生たちの メモリーズ

見城眞由美さん(1976年(S51)卒)
テニス色の短大時代を過ごした見城眞由美さん。「学校に居る間は、ずっとテニスがあったので、抜けられそうな授業は返事だけして抜け出していました。ごめんささいもう時効でいいですか?」と楽しそうに打ち明けてくれました。見城さんは卒業後、福岡県の青年の船、少年の船、青年の翼に参加し、

見城眞由美さん(1976年(S51)卒)

大野城市で少年の船の立ち上げにも携わりました。同窓会本部の役員を長く務め、現在は男女平等、DV、児童虐待について学習活動をしています。「短大は2年間という短い時間だからこそその濃密な学びとつながりが、今も人生の支えと勇気になっている。」と、青春時代を振り返ります。

四元 絵美さん(1995年(H7)卒)

日本がバブル景気に沸いた1980年代、男女雇用機会均等法とともに女性のライフスタイルに変化がみられる時代の到来です。福岡女学院短期大学の学生は企業から引く手あまたで、女性の社会進出に大いに貢献しました。1993年に入学した四元絵美さんは英文タイプ部に所属、コンテストに



出場したときのことを懐かしく思い出します。生活学科(家政科より名称変更)の授業で干している梅をつまみ食いして叱られたり、卒業式のガウンキャップは、黒色のストッキングが指定だったので、色を間違えて同級生に助けられたり、「とんでもない学生でした。」と笑顔いっぱい語る四元さんでした。

開学当時の「素晴らしい学校を」という教職員の強い願いは、短大のひとつの校風・伝統となり、今に至ります。卒業生は、福岡女学院で学んだ知識と豊かな賜物を与えられて世の中へと押し出され、それぞれの馳せ場で、一人一人がその役割を果たすべく今日も懸命に生きています。福岡女学院短期大学は2026年3月をもってその役割を終えることになりました。淋しさはあれど、ここでかけがえのない出会いに恵まれたことを心から感謝する私たち同窓生の思いはひとつです。故・徳永徹先生がよく仰っていた「女学院のこころ」を忘れることなく一日一日を感謝して歩んでいきたいものです。

時代の役目を終えて

— 「地の塩、世の光」受け継がれる女学院のこころ —

福岡女学院大学短期大学部は2025年度より学生募集を停止することになりました。いくつもの時代を創ってきた「ミッション」の歴史を振り返ってみましょう。

写真提供:福岡女学院資料室



短大・大学 部会

短期大学のあゆみ

※学校法人 福岡女学院 ホームページより抜粋

1964年 開学。家政科と英語科からなり、まだ短期大学という形態が少ない環境の中で遠方から通ってくる学生も多く、とても人気がある学校でした。

- 1964年 短期大学(英語科、家政科)を開学
- 1985年 短大 国文科を開設
- 学院創立100周年記念行事を挙行
- (1990年 小郡市に4年制大学を開学)
- 1993年 短大 家政科を生活学科に名称変更
- 1999年 福岡女学院短期大学を
- 福岡女学院短期大学部に名称変更
- (2002年 大学小郡キャンパス閉鎖、日佐キャンパスへ統合)

阿部 高子さん(1967年(S42)卒)

阿部高子さんは短大2期生として入学しました。福岡女学院短期大学は第二志望ではなかったものの、入学してみると教職員の「素晴らしい学校をつくろう!」という熱気とエネルギーに圧倒され「前向きになれましたし、短くともとても濃密な2年間だった。」といえます。「今は亡き小樋井先生(哲学・学友会顧問)、前田先生(文学)、後田先生(英語):授業はもとより、私の人生に於いて、信仰生活に於いて、決定的といえるほどの「宝物」を頂きました。」と語る阿部さん。「後にYWCAでも後田先生にはご指導頂きました。そしてOG会として『校会』が立ち上げ

られ、ハウエル先生もずっと寄り添ってくださいました。全国に散らされているメンバーが年に一度後田先生のお宅に集まり、豊かな交わりが約50年間続けられています。それぞれの地で、教会に繋がっている方も多いと聞いています。「昨年(2023年)は米寿のお祝いで、関東・名古屋・関西・九州から卒業生が神戸の後田先生のご自宅に集まったそうです。このほかにも柿園ヤエ先生や板倉武子先生など、女学院の伝説ともいえるべきお名前が次々に・思い出は尽きることがあります。半世紀以上の時を超えてなお、その教えは生きて「地の塩、世の光」としての卒業生たちの働きを成しているのです。



短大60周年 記念企画 エッセイコンテスト

短大時代の思い出、卒業後の交流、思う母校のこと
あなたの記憶をエッセイにしてみませんか?

テーマ「短大とわたし」

応募作品は自作で未発表の作品に限ります。応募はひとり一作品まで。
氏名・卒業時の名前・卒業年・学科・連絡の取れる電話番号を明記の上、メール添付、もしくは郵送でご送付ください。
郵 送:〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 福岡女学院同窓会事務局「短大60周年エッセイコンテスト」係
Tel/Fax:092-575-2479 メール宛先:tan_dai_dousou@fukujo.ac.jp

応募締切:2025年9月30日(火)消印有効 詳しくは同窓会ホームページで。



看護大学 部会

輝く 看護大学卒業生

看護大学の卒業生の

近況や大学時代の思い出を
お届けします。

田平優子さん
(2013年(H25)年卒)

皆さま初めまして、田平優子と申します。私は福岡女学院看護大学へ2期生として入学し、2013年の3月に卒業しました。その後は福岡県にある大病院へ就職し、現在も看護師として従事しています。今回、同窓会誌で執筆の機会を頂きましたので、大学生活の振り返りや、就職後の生活や現在の心境などを語らせていただきたいと思っております。

私は2009年に看護大学に入学し、地元の鹿児島から離れ、初めての一人暮らしを経験しました。初めてのころは、ホームシックになり、とにかく友達を作ろうと一生懸命だった記憶があります。大学1、2年生の頃は、教養科目も多く「早く看護師らしい勉強がしたい」と思っていました。しかし、就職した今、あの時の教養やチャペル礼拝で得た知識は、患者さんとの会話の糸口となり、大いに役立っているなど実感しています。大学3年生からは実習も始まり、大変忙しくなりました。とにかく乗り越えることで精いっぱいであった記憶がありますが、一緒に頑張ったメンバーとの絆は深く、卒業した今でも連絡を取り合い、時間が合えば食事を楽しみむ仲間となっています。看護師、保健師国家試験はそれまでの私の人生のなかで一大イベントでした。とにかく過去問題を何回も繰り返し解き、わからないところはひとつひとつ解決していきました。国家試験の勉強はやはり看護師として働く現在でも活用する知識がほとんどで、

あの時の勉強は決して無駄ではなかったと思います。看護大学卒業後は大学院に就職し、現在で11年目とになります。看護師として働きた後も勉強は続く毎日でした。しかし、大学生のころに比べて、臨床での勉強は身をもって体感することができ、患者さんの看護へ直接的に関与するため、苦痛と感じたことはなく、分かるようになったことへの喜びが大きくなりました。私は看護師4年目で結婚し、その後妊娠・出産も経験しました。現在も4歳の娘の子育てをしながら働いています。子育てをしながらの仕事は大変なこともありますが、看護師は様々な働き方ができ、とてもやりがいを感じています。11年目となった現在も、日々成長する気持ち忘れず、自分の目指す看護師像に近づけるよう邁進していきたいと思っております。今回、このような貴重な機会を頂きありがとうございます。今後も福岡女学院看護大学の卒業生の名に恥じないよう、努力していきたいと思っております。

看護大学 TOPICS

看護大学学生がJFNラジオCMコンテスト2024で 優秀賞を受賞しました!

JFNラジオCMコンテスト2024はラジオに乗せて、学校アピールで、全国約2,900通の応募の中から、2年生4名の作品が全国2位「優秀賞」を受賞しました!
授賞式はTOKYO FMホールで行われ、学生たちに賞状とトロフィーが贈られました。

「学生同士の会話が本当に楽しそうで、この学校へ行って学びたいという気持ちを起こさせる、実に良い効果のあるラジオCMだと思った。」
「看護大学で学ぶ学生さん達の声をリアルに聴かせてもらったことで、生命を支え、守っていく仕事にこれから就こうとしている人たちの頼もしい姿をうかがい知ることができました。」と多くの審査員から高く評価されました。

コンテストは、日本全国の大学院生・大学生・短大生・専門学校生・高等専門学校生を対象に、あなたが通う学校を20秒、もしくは40秒のラジオCMコピーとして自由に表現した作品を応募するものです。

今回学生たちは、看護学生のあるあるをテーマに福岡女学院看護大学をPRした作品を作ってくれました。ラジオCMは、学生本人たちがラジオスタジオで録音しました。実習先での患者さんとのやり取りや、看護の勉強をしていて嬉しかったことなど、博多弁の方言を交えた学生たちの和やかな掛け合いは、聴く人の心を温かく優しい気持ちにしてくれます。

受賞作品はこちらからお聴きいただけます。

2024年入賞作品 ▶ <https://jfn.co.jp/cmc/>

JFNラジオCMコンテスト

検索



支部だより

支部長会開催

2024年5月19日支部長会を開催いたしました。各支部ともに毎年総会や懇親会に参加される同窓生が減少していく中、その流れはコロナ禍で追い打ちがかかり、支部の存続が危ぶまれてきました。しかしながら、母校の地福岡を離れ、故郷を懐かしむ同窓生が集まり親交を深めていった支部を、なんとか継続できるように、皆で知恵を絞り意見を出し合った会となりました。そのような中でも、なんとか開催にこぎつけた関東、関西、中部、広島支部総会においては、とても心温まる会になり、思い出に残る大切な時間を過ごすことができました。

関東支部

関東支部は、2024年6月25日(火)、東京ウィメンズプラザにて総会を開催しました。野田会長のご臨席を賜り、支部組織の再構築に関し活発な意見交換がなされ、「支部」としての存続を審議、決定しました。時代のニーズに合わせた持続可能な組織とは悩ましいものです。それでも、福岡を遠く離れた関東の地で、同窓生が集まり、懐かしい讃美歌を歌い、母校に思いをはせる場は、これまでもこれからも続いてほしいと願う次第です。
関東支部 川崎由紀子



関西支部

厳かな礼拝にはじまり、和やかな楽しい総会でした。十時先生のがん治療に関する興味深いお話を拝聴し、短大開学60周年を祝って目の前の琵琶湖に打ち上がった小さな火花に心を躍らせ、今年140周年を迎える学院と来年閉学する短大への想いをこめて。
関西支部 水口真由美



関西支部 水口真由美

北九州支部

2025年は巳年です。巳年(みどし)のシンボルである「蛇(へび)」は、強い生命力と知恵を持ち、脱皮を繰り返しながら成長する姿から、変化と再生を象徴する年になるといわれています。福岡女学院の同窓会も大きな変化を迎えようとする中、北九州支部では2023年に総会を開催。その際に継続して北九州支部のお知らせが必要と言うお返事を頂いた方に、今後の同窓会、並びに北九州支部の活動の在り方についてのアンケートを送付させて頂く予定としています。その節には皆様の忌憚のないご意見を頂けます事をお待ち申し上げます。
北九州支部 齋藤まゆみ

筑後南支部

筑後南支部は、令和6年の支部総会、お休みしました。活動としては、9月7日に琵琶湖ホテルにて開催された、関西中部合同支部総会に副支部長と会員1名の参加があります。竹下副支部長が、礼拝の担当をさせて頂き、本当にいい時間を過ごしました。と報告を貰いました。いま同窓会は、変化の時期にきていますが、筑後南支部は、今まで同様小さく存続して行こうと考えています。今年は、会員の繋がりを軸にして、和やかな会になればとおもっています。ご案内をしました折には、参加されたことのある方は勿論ない方もご参加よろしくお祈りしますm(_ _)m
筑後南支部 安藤藤子

長崎支部

長崎支部は今まで活動をお休みしておりました。今年久しぶりに長崎支部総会、懇親会を開催する予定です。詳細決まりましたらお葉書にてご連絡差し上げます。たくさんのご参加お待ちしております。
長崎支部 納所季代子

鹿児島支部

鹿児島支部は現在活動をいたしていません。役員の方の諸事情で思うように仕事ができなくなり、支部の閉会を考えております。今までのみなさまの御協力に感謝を申し上げますと同時に、何か御意見等ありましたら御連絡くださいますようお願いいたします。
鹿児島支部 新原美栄子
菅原愛子

熊本支部…現在、活動を休止しております。
大分支部…現在、活動を休止しております。

中部支部

20年程、2名で支部の運営に携わって参りましたが、両名共高齢者となり「支部の会計(現金等)を個人が預かる」という金銭に関する部分に、大きな不安を抱えるようになりました。加えて、支部総会参加者も減少しています。存続も視野に入れつつ考えたのですが解決策が見つからず、令和6年9月に開催した合同支部総会をもって、70年にわたる中部支部の活動に終止符を打つ事に致しました。長い間お世話になりました。
中部支部 平田輝子

広島支部

懐かしい福岡女学院の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年はいへん嬉しいことに、五年ぶりに支部総会懇親会を開催することができました。待ちに待った総会ですので、お一人でも多くの方の参加を願い、日々、先輩や後輩の方と話し合いながら、当日を迎えました。早々に会場にお着き下さいました同窓会会長、副会長のお顔が見えたところに、今までの不安が飛んでいき、きっと楽しい会になると確信しました。会場の皆様の優しさ、笑顔で、すばらしいひとときをすごせました。特別な企画も無いまま、先生方、同窓生お一人一人の心からの声をきかせてくださいました。松原先生の「福岡女学院同窓生は皆家族です」と言って下さり、終らせていただきました。参加者の皆様、遠くで祈ってくださいました皆様、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。
広島支部 松田恵美子



広島支部 松田恵美子



【クリスマス会】

2024年12月14日同窓会主催のクリスマス会を開催致しました。

同窓会集會室にて礼拝を行い、坂元恵子様のお話「クリスマスはなぜうれしい？」を伺い、クリスマスの意味について考えました。

その後は祝会へと進み、ミッショングッズのバザーや抽選会を行い終始和やかで楽しい会となりました。今後も多くの同窓生の方に学院に帰って来ていただける様、楽しい会を企画して参ります。

在校生支援・贈呈式



中高生徒会

毎年、同窓会から在校生支援として、中高生徒会、短大・大学、看護大学の各学友会へ支援金を贈っています。また、2024年度の『学院寄付金』は大学・短期大学部へ贈りました。有意義な学び、活動のために活用してください。

これからの未来を担う学生・生徒たちへエールを！



短大・大学学友会



学院支援金の贈呈式
副島学長へ



看護大学学友会

音楽科卒業生会

音楽科卒業生会 代表 田口 三冬 (1983(S58)年音卒)

音楽科卒業生会の今年度は「在校生に寄り添う」をテーマに歩みを進めて参りました。

昨年度末には卒業礼拝後の三年生に祝花を贈呈し、お一人お一人のこれからのエールを送ると共に卒業生会の成り立ちや運営についてもご説明させて頂いております。

春の学年委員会には中高の重枝校長をお招きし、来年度より増設される響創コースについてのご説明頂くと共に闊達な意見交換を行いました。

7月の総会、9月の卒業生演奏会も、神様のみ恵みにより無事に終了しました。学院から頂戴した素晴らしいお花にも、心より感謝申し上げます。

変革の一步を踏み出した音楽科の未来のために、私共卒業生会として為すべき事をこれからもしっかりと見つめながら、活動を続けていければと考えております。



卒業生演奏会出演者
～高島一路元校長もアンサンブルに出演していただきました～



演奏会当日、学院から立派なお花を頂戴しました。



音楽科3年生の卒業を祝う

HOME COMING
ホームカミング
&
バザー
BAZAAR

福岡女学院創立140年
同窓会
ホームカミング&バザー

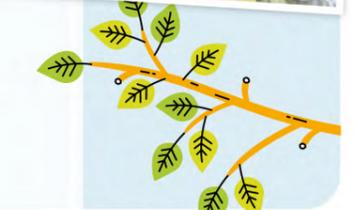
2025年5月17日(土)
10:00~15:00

同窓会による手作りのバザーやミッショングッズを販売いたします。メイポールドダンス観覧とともにぜひお立ち寄りください。



2024年5月18日、快晴の中、伝統行事のメイポールドダンスが行われ、多くの人で賑わいました。大学125周年記念館ピロティではバザーが開催されました。毎年、手作りの品、スイーツを楽しみに来られるかたもいます。

同窓会集會室では、歓談スペースを作り、お茶とお菓子とともに、創立記念行事のあとにゆっくりとした時間を過ごしました。福岡女学院に関わる多くの皆さまと創立記念日をお祝いし、笑顔に包まれた1日でした。



Mission Family



秋枝 静香さん

「再生医療」という 新しい医療の選択肢を!

これまで不可能とされていた病気やケガからの回復に新しい道を開き、世界中の患者さんに貢献することを目指しています。バイオ3Dプリンターを開発し、本人の細胞を用いて骨・軟骨、神経、血管等の臓器を作り、再生医療に貢献しています。



プロフィール

福岡女学院中学・高校卒業後、明治大学、九州大学大学院を経て、九州大学病院において遺伝子及び再生医療分野の研究に従事。その後、文部科学省のプロジェクトを経て、九大発ベンチャーとして株式会社サイフューズを創業し、2022年12月に東京証券取引所グロース市場に上場。ベンチャー企業経営の傍ら、小中高生への理科教育や大学におけるアントレプレナーシップ講義等にも従事。内閣府産学官連携功労者表彰、JAPAN VENTURE AWARDS等、数々受賞。
<https://www.cyfusebio.com/>



韓国宮廷料理の研修旅行

2025年短期大学は設立から60年を迎えます。

2026年3月に最後の卒業生を送り出すことで60年の歴史を閉じます。

そこで1回生を代表して、西田圭子さんに思い出を語っていただきました。



西田 圭子さん

プロフィール

1964年4月福岡女学院短期大学家政科入学
1966年3月同校卒業
1966年4月より個人的に家政科教授山川逸代研究室で食を学ぶ
1968年4月福岡女学院短期大学調理実習助手その後調理助手、助手を経て韓国宮廷料理を学び現在韓国宮廷料理研究家として活動中

今も忘れられない 「入試問題」

福岡女学院短期大学は1964年4月に英語科と家政科の二学科でスタートいたしました。私は家政科第1回生として入学した西田圭子と申します。入学試験を受けたのは中高校舎でした。中高校舎から眺めた短大の校舎はまだ建築中でした。入学試験には「福岡女学院短期大学の建物は建築中です」と英語入試問題に出題されたのを憶えております。女学院短期大学の校章は中高と同じで、それにJ・カレッジのマークが鎖で繋がっていました。入学生はスーツ姿で入学式に臨みました。入学したらジーンズ等は被服の先生から怒られ、素足は厳禁でストッキングかソックスの着用が当たり前でした。

寮での生活、食前のお祈り

私は地方出身でしたので学寮に入寮しましたが、一部の中高生と一緒の生活でした。部屋は6人でベッド・机・本棚・ロッカーが設置されていて、門限は5時、食堂は1階にありテーブルに8人ずつ座って頂くのですが、和・洋料理が中心でした。大皿に盛り付けされたものを各自食べられる分だけ装っていました。食前には聖書が拝読され、お祈りが捧げられ、食事が始まります。テーブルでのマナーも自ずと身に付き、ありがたく感謝でございました。

現在の仕事につくとは

まさか現在のようない仕事に従事するとは、想像もしていませんでした。中学高校時代は、サッカー部での部活動に明け暮れ、勉強については二の次、ただ何となく楽しくて毎日無意識に自転車通学に通っていた、という記憶です。決して褒められた生徒ではなかったと思います。

理系に進み、今のキャリアを 考えるきっかけになったのは

中学1年生の時の担任で、その後、高校3年生まで、そして教員時代にも大変お世話になった理科の森美紀先生の御指導の賜物です。当時はなりたい職業や夢は特に無かったのですが、唯一「化学」だけは好きでした。何かを混ぜ合わせて新しい物質ができるような化学反応に魅了され、化学を専攻したいと考え、化学が好きになりました。とはいえ、化学が好きであることと、勉強ができることは全く別で、森先生にはとてもご面倒をかけたと思います。その後、大学では有機合成化学

クリスマス祝会、修養会、 ガウンキャップの卒業式

クリスマスには短大ではクリスマス礼拝・聖劇でお祝いした事がなつかしく蘇ってまいります。寮でもクリスマス祝会に学内の先生方をお迎えし、楽しい時間を過ごしたものです。私も手作り料理でもおもてなし、仮装パーティーなども良き思い出です。北海道・東北の研修旅行、ゼミ、泊修養会、体育祭等、想い出は尽きません。卒業式でガウンとキャップを身に付け、学長先生から1人1人に卒業証書が授与された厳粛な式も、感謝の気持ちで一杯でした。その後、私は特別に研究生として短大に残り、色々な事を学び研究にと過ごしました。

韓国宮廷料理との出会い



西田さんが作る韓国宮廷料理
朝無形文化財第三八号

その後は福岡女学院短大のY・W・C・Aクラブが韓国にワーク・キャンプに行った時の事が忘れられず、韓国宮廷料理を深く学びたいと、福岡で夜2年間、韓国語を学び、韓国宮廷料理研究家(李王朝の末裔の趙重玉氏(東京在住))に、そして趙重玉氏の紹介でソウルの朝鮮王朝無形文化財第三八号

福岡女学院への奉職

コロナ禍前は福岡女学院大学の天神サテライト、同じく福岡女学院大学の生涯学習センターで韓国宮廷料理を教える機会に恵まれました。コロナ禍で中止になりましたが、昨年の秋から久留米のイタリア料理教室で教える事になりました。女学院で学んだ精神を私らしく皆様に伝えられたらと願っています。愛する女学院大学の生涯学習センターで教えることが出来たらと願っております。



料理教室の様子

を専攻しましたが、もう少し医療に近い、人に貢献できるような研究に携わりたいと思ひ、大学院でガン遺伝子の研究に従事し、現在の研究活動に繋がっています。



2022年12月に東京証券取引所グロース市場に上場

女学院での学生生活は

朝から夕方まで、そして週末もほぼ毎日、サッカー中心の生活でした。サッカー部顧問の鶴原一徳先生のお陰で、「仲間の大切さ」「人とのつながり」「あきらめない心」、体力とともに人間として生きていく上

で重要な人生のイロハを学び、今に活きています。「シートを打たないと、打ち続けないと、ゴールは生まれない!」今でも肝に銘じて社業に取り組んでいます。

今、振り返ると女学院中高の6年間の学生生活が、現在の人生の礎を築いてくれているように思います。あの意味大らかで温かい雰囲気の中、授業でも部活動でも一人一人を尊重し、先生方に大切に育てて頂き、その中で生涯の友となる仲間と沢山の学びを得たことは何にも代えがたい人生の資産になっていると感じています。現在も先輩や後輩、そして教え子達との繋がりが仕事でも支えられています。「つながり」に感謝し、これからも「たての繋がり」、よこの繋がり」を大事にしながら、次世代の日本を支えていくことができるよう、「医療と教育」をベースに微力ながら社会に貢献していきたいと考えています。



逝去

つつしんで哀悼の意を表し、主による平安をお祈りいたします。

(敬称略)

2024.5.18 横田 綾子(荒川)1938(S13)女	2022.12.29 阿南 糸代(安永)1956(S31)高
2023.9.3 龍野 美枝子(井上)1938(S13)女	2024.4.19 徳久 喜代子(徳久)1957(S32)高
2012.3.25 鬼山 速子(樺島)1942(S17)女・1943(S18)専	2023.10.7 眞田 順子(緒方)1959(S34)高
2024.4.11 松隈 博子(片山)1943(S18)女	2024.4.11 別役 恭子(荻島)1960(S35)高
2024.7.20 柴田 正子(奥村)1944(S19)女・1945(S20)専	2024.6.28 宮川 ミナミ(鈴木)1961(S36)高
2024.5.30 河東 淑子(河東)1944(S19)女	2024.8.17 白水 泰子(吉田)1961(S36)高
2020.4.12 花岡 月子(中津)1944(S19)女	2023.12.15 池 佑夏吏(井口美保子)1962(S37)高
2024.6.23 渡辺 礼子(松村)1945(S20)女・1947(S22)専	2024.8.16 佐藤 禮子(照沼)1962(S37)高
2024.3.17 池上 礼子(八尋)1945(S20)女・1947(S22)専	不 明 関永 愛子(秀村)1962(S37)高
2024.11.3 高橋 孝子(高橋)1947(S22)女	2023.12.5 大島 みどり(山崎)1966(S41)高・1968(S43)短
2024.6.26 森林 スエ子(中)1951(S26)高	2024.1.12 岩隈 杏子(兼松)1966(S41)高
2023.8.8 松金 重美子(松金)1951(S26)高	2024.4.4 井手 敏枝(松尾)1967(S42)短
2024.6.7 大和 喜久江(大和)1951(S26)高	2023.3.23 竹下 洋子(井下)1968(S43)高
2024.7.13 竹内 美恵子(藤野)1952(S27)高	2022.8.4 吉田 峯子(吉田)1968(S43)短
2024.1.28 大浦 和子(古市)1952(S27)高	2023.5.29 藤田 和子(西村)1969(S44)高
2024.3.23 戸田 伊企子(吉原)1952(S27)高	2023.6.28 石森 由紀子(植崎)1971(S46)短
2021.9.1 船木 京子(河原田)1953(S28)高	2024.4.10 田代 光子(小野)1972(S47)高・1974(S49)短
2024.11.30 石田 英子(志岐)1953(S28)高	2014.4.25 梅津 有美(古賀)1973(S48)高・1975(S50)短
2024.8.1 龍興 恭子(常岡)1953(S28)高・1955(S30)専	2024.7.6 三好 薫子(三好)1974(S49)高・1976(S51)短
2024.11.26 佐藤 貞子(鳥飼)1953(S28)高	2011.10.6 松岡 邦子(合原)1974(S49)短
2024.5.9 宮元 洲枝子(原田)1953(S28)高	2023.12.25 園田 ちひろ(芦馬)1975(S50)短
2024.8.14 藤松 昭子(福本)1953(S28)高	2023.12.31 大城 由美(大城)1976(S51)高
2023.11.5 井上 幸子(西村)1954(S29)高	2023.10.4 加治 智子(南)1977(S52)高・1979(S54)短
2023.10.8 馬場 妙子(松金)1954(S29)高	2021.8.2 津曲 由紀子(本村)1977(S52)高
2024.2.6 川崎 喜代子(川崎)1955(S30)高	2024.4.9 末金 真美(関)1978(S53)高
2024.1.9 加藤 恩(平野)1955(S30)高・1956(S31)専	2024.11.10 今泉 圭子(吉田)1984(S39)高・1986(S61)短
2024.7.23 大村 桂子(深沢)1955(S30)高	2024.4.3 角 和子(角)1993(H5)高
2024.1.5 三坂 万里子(眞岸)1956(S31)高	2024.12.5 井上 優(山田)2001(H13)高
2023.12.17 大島 晴美(東)1956(S31)高	

ご家族の了承を頂いた方のみ記載しております。

※()旧姓です。※卒年順です。
2025.1.20現在

活動報告

- 1 同窓会総会
- 2 役員会
- 3 支部長会
- 4 名簿管理
- 5 広報(SNS)
ホームページ・Facebook・
Instagram・公式LINE(管理)
- 6 会報『ぶどう』発行
- 7 友愛活動
85歳以上の会員へのクリスマスカード発送
- 8 特別行事
同窓会クリスマス礼拝・祝会開催
- 9 学校部会支援
- 10 在校生支援
- 11 学院支援
- 12 その他 / 中学校・高等学校部会立ち上げ準備



役員紹介

会長

野田 幸子 (1979(S54)年高卒)



副会長

稲原しのぶ (1979(S54)年高卒)

津留崎幸代 (1982(S57)年高卒)

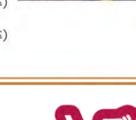
古賀真理子 (1993(H5)年高卒)



財務部

魚住 直美 (1974(S49)年短卒)

三船 則子 (1982(S57)年高卒)



総務部

四元 絵美 (1993(H5)年高卒、1995(H7)年短卒)

進藤 真理 (1993(H5)年高卒)



会員部

小野 真実 (1995(H7)年大卒)

井澤利津子 (2000(H12)年大卒)



広報部

牛島 惇子 (1966(S41)年高卒)

長野加代子 (1974(S49)年高卒、1976(S51)年短卒)

村井 里江 (1994(H6)年大卒)

山路絵理子 (1995(H7)年短卒)



部会部

富永 由美 (1990(H2)年短卒)

城戸真由美 (2000(H12)年大卒)

三浦 徳子 (2000(H12)年高卒)



監査

藤井 恵 (1970(S45)年高卒)

田中 由利 (1982(S57)年高卒)



事務局

城取 祐子 (1996(H8)年短卒)

中津菜美子



ご登録よろしくお願いたします!

Instagram



公式LINE



ID: @fjdousoukai

Facebook



中学校・高等学校・同窓会入学特別選考のお知らせ

同窓会会員のお子様・お孫様・姉妹様の入学希望者につきましては、入学時にかかる費用の一部を奨学金として給付する制度があります。詳細は同窓会事務局にお問い合わせください。

財務部より

同窓会会員の皆様からの貴重な会費を同窓会活動の運営と学院の発展のために、大切に使用させていただいております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

ラベルシールをご確認のうえ会費納入のご協力をお願いいたします。

同窓会会費は1口1,000円ですが、1,000円から何口分でもお支払いいただけます。満期は50口です。会報「ぶどう」送付時の宛名ラベルシールの左下に、満期までの口数を記載しております。完納されている方は0と記載されます。

満期までの口数(残)

2024年12月末現在
完納された方は「0」と記載されます。

(例)右図の場合は満期(額)に対して21口分(21,000円)残っています。

※1,000円から何口分でもお支払いいただけます。

ご不明な点は同窓会事務局までお尋ねください。
(TEL&FAX 092-575-2479)

宛名ラベルシール

〒811-1313
福岡県福岡市南区日佐3-42-1

福岡 花子 様

21

29990013

■ 会員No.

氏名の漢字表記について

氏名の表記でシステムの都合上、旧字体など表示できない場合がございます。その場合は代替文字で表記させていただきます。ご了承ください。

例: 吉・吉 辻・辻

2025 **1.6** 新発売 **New!**

ぶどう果汁 **600円** (税込)

ぶどうを丸ごと絞っただけの天然100%のストレートジュースです

原材料:ぶどう(100%ストレート) 内容量:200ml 常温保存可

mission goods

福岡女学院大学売店
営業時間 9:00~17:00 TEL 092-575-5481

販売数 **9,000突破!** 食事の冷凍宅配サービス

nosh ナッシュ

ミッションサポート×nosh

タイアップサイトからの新規お申し込みで初回購入金額から **2,000円オフ!**

お申込みはこちら

株式会社ミッションサポート
営業時間 9:00~12:00/13:00~17:00
TEL 092-575-2551 Email info@missionsupport.co.jp

HPリニューアルオープン

HPリニューアルオープン

福岡女学院創立140周年記念行事のお知らせ

1885年に創立された福岡女学院は、2025年に創立140周年を迎えます。同窓生の皆様と一緒に記念日をお祝い致したく、ご案内申し上げます。記念行事等の詳細は決定次第、順次学院ホームページなどに掲載いたします。皆様のお越しをお待ち致しております。

学院ホームページ



日にち 2025年5月17日(土) 場所 福岡女学院ギール記念講堂 (福岡市南区日佐3-42-1)

創立140周年記念式典

時間 10:00開式

メイポールダンス・ メイクイン

時間 11:00~11:30

場所 中高ロータリー

※雨天時は中高第2体育館



創立140周年記念講演会(無料)

講演名 讚美 - 言葉に生きるものとなる -

時間 14:00~15:00(開場 13:40)

講師 2025年福岡女学院「メサイア」指揮者
青木 洋也 氏

東京藝術大学大学院で古楽演奏、エリザベト音楽大学大学院で宗教音楽学を学び、在学中より定期的に渡欧して研鑽を積む。宗教音楽を専門とし、J. S. バッハの《マタイ》《ヨハネ》の両受難曲や、多数のカンタータの独唱をつとめる。「PURCELL PROJECT」代表。日本キリスト教団聖ヶ丘教会教会音楽主任および聖歌隊長。



photo by ATSUKO ITO (Studio LASP)

作品 募集

第12回福岡女学院短歌コンクール

「今をうたう」をテーマに短歌作品を募集いたします。
概要は短歌コンクールウェブサイトをご覧ください。

一般の部 応募期間

2025年
5/7(水)~8/18(月)

短歌コンクール
ウェブサイト



福岡女学院創立140周年記念

Messiah

第41回クリスマスコンサート「メサイア」

日時 2025年12月19日(金) 17:30開場 18:00開演

会場 アクロス福岡シンフォニーホール

第41回クリスマスコンサート「メサイア」女声ソリスト募集

応募資格 1975年以降に出生した福岡女学院卒業生

募集声部 ソプラノソリスト および アルトソリスト

審査形式 YouTubeによる動画審査

お問合せ 福岡女学院キリスト教センター「メサイア」担当 Mail:messiah@fukujo.ac.jp

応募期限

2025年4月11日(金) 17:00送信まで



応募方法等 詳細は
ソリスト募集ページを
ご確認ください

●福岡女学院同窓会会報「ぶどう」第30号 2025

福岡女学院同窓会

〒811-1313 福岡県福岡市南区日佐 3-42-1

TEL・FAX (092) 575-2479

【URL】 <https://www0.fukujo.ac.jp/alumnae/>

【E-mail】 alumnae@fukujo.ac.jp



福岡女学院 同窓会

検索

■個人情報取扱いについて

2005年4月より、個人情報保護法が制定されました。個人情報を取り扱う同窓会事務局としましても、慎重に皆様の会員データを管理しております。懐かしいお友達へのご連絡など、事務局へ沢山のお問い合わせがございますが、必ずご本人様への確認をさせていただいた上でお答えしております。同窓会会員には同名同名の方が多くいらっしゃいます。データ管理の間違いを防ぐために生年月日のご確認をさせていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

住所・氏名変更、同窓会会費その他お問い合わせ、ご連絡は同窓会事務局へ (受付時間:月~金 午前10:00~12:00/午後13:00~17:00)